

2023年4月27日

課題名：IgG4 関連疾患、シェーグレン症候群における顎下腺超音波検査の検討

◆研究の目的と概要◆

IgG4 関連疾患は血液中の IgG4 高値に加え、全身臓器に腫れや線維化などを認める原因不明の病気です。一方、シェーグレン症候群は涙や唾液を作っている臓器を中心に炎症を起こす全身性の自己免疫疾患です。当院では、IgG4 関連疾患、シェーグレン症候群について顎下腺超音波で顎下腺の硬さ、構造変化、大きさなどを調べています。本研究では、IgG4 関連疾患の顎下腺病変の活動性指標の確立を目指し、今後のよりよい診療を行うことを目的としています。

◆対象となる患者さん◆

2016年4月から、2022年12月までの間に、IgG4 関連疾患、シェーグレン症候群を疑われ、顎下腺超音波検査を受けた方。

◆研究に使用される情報◆

年齢、性別、治療薬、顎下腺超音波所見（硬さ、構造の違い、大きさ）、血液検査結果、臨床経過（病気の期間、病変の箇所、薬）

◆研究方法◆

本研究は過去の診療録（カルテ）等からの情報を利用します。

- 
- \* 研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる情報は利用しません。
  - \* 本研究に関するお問い合わせや、カルテ情報の利用についてご了承いただけない場合、以下の問い合わせ先までメールでご連絡ください。なお申し出の時点ですでに論文化している場合は、対応困難であるため除外できない場合がありますことをご了承ください。

【問い合わせ先】

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院  
内分泌代謝・リウマチ内科 研究責任者 西村 啓佑  
E-mail: kenkyu★kchnet.or.jp（臨床研究センター）  
（★を@に変換して使用してください）

この研究課題で利用する残余検体・診療情報等の利用については、医の倫理委員会によって「社会的に重要性が高い研究である」等の特段の理由が認められ、実施についての承認が得られています。

※【問い合わせ先】では、次の事項について受け付けています。

- 研究計画書および研究の方法に関する資料の閲覧（又は入手）ならびにその方法  
（他の研究対象者の個人情報および知的財産の保護等に支障がない範囲内に限られます。）
- 研究対象者の個人情報についての開示およびその手続
- 研究対象者の個人情報についての利用目的の通知
- 研究対象者の個人情報の開示、訂正等、利用停止等について、請求に応じられない場合にはその理由の説明